

## 第 5 回総合計画審議会における主な意見

指摘箇所		委員からの主な意見
推進に当たって(1)	協働によるまちづくり	資料1-2シビックプライドは読売広告社の登録商標になっている。同社との調整状況はどうなっているのか。 読売広告社に確認をし、利用の件については了解をいただいている。
2 重点テーマ(2)	目標	働く場の充実とは、どこどこを比較した結果なのか、アンケートの際に提示はしないのか。しないのであれば人によって答える前提条件が異なってしまうのではないかと。 特定の資料を添えて聞くことは考えておらず、皆さんが普段肌で感じている感覚をお答えいただきたいと考えている。
2 重点テーマ(3)	基本的方向	「買物弱者対策」とあるが、実施主体を明確にするという観点から、買物弱者支援としたほうが分かりやすいのではないかと。
2 重点テーマ(3)	目標	地域の事は地域でできているとあるが、何ができているのか具体的に記載したほうが良いのではないかと。
4 参考指標	-	本テーマの目標は市民アンケートの分析の結果として市民アンケート報告書の方で分析するようなもので、むしろ参考指標こそが成果指標にふさわしいようなものではないかと。
5 重点テーマを形作る施策	-	それぞれの重点テーマについて がつけてあるが、これは範囲を示しているだけで、重点テーマを分野横断的に推進するということにはならない。政策の実施途中で政策の実施状況をモニタリングすることが必要で、その仕組みについても併せて考えていただきたい。
施策1	指標	目標設定の考え方の意味がよく理解できない。また、他の指標でも”~と回答した人以外の”などわざわざ分かり辛い表現を使っている印象を受ける。
施策2	指標	虐待相談の安全確認というのはハイリスクケースのみなのか、電話相談すべてに対応するのか分かり辛いため、もう少しわかりやすくしたほうがよい。
施策3	指標	例えば一人ひとりにタブレットを配布するとか、ICT教育に対して、リソースをつぎ込んでいくということを評価として盛り込んで良いのではないかと。
施策3	指標	独自調査となっているが、エビデンスを保障する意味でも、市独自ではなく全国テストの結果を使ったほうが良いのではないかと。
施策3	指標	去年過去5年のいじめの件数が、かなり急増していることから、指標の中でいじめの件数を減らしていくという努力もあり得るのではないかと。 件数が少ないことが良いとなってしまうと、現場で発見できなくなってしまう恐れが、いじめの定義も変わったという背景もあったと思うが、そのようなこと踏まえて、検討していただきたい。
施策3	-	文科省が新指導要領を新しく改訂しており、「対話的・主体的深い学び」「社会に開かれた教育課程」という言葉を使っている。「学校教育の中だけでない」、「地域とつながった社会との関係性」などの言葉が入ってくれば良いと思う。
施策3	-	少人数学級は今後8年間の相模原の教育課題を解消・解決していくに当たっての最も効果的なものであると考えるが、目標を持たないということではないかと。 本市では、国の定める基準に沿って教員の配置をしているところであるが、現在小学校3年生に対してはクラスの中に補助する先生をおいて、少人数学級と似た状況を作り出しながら、対応しているような状況である。今後、引き続き考えていかねばならない課題であると認識している。
施策3	指標	取組の方向の部分に「自分らしい生き方を実現するための力を育成します」とあるため、夢や希望を持つことの根底にある自己肯定感ということを目指していくことはできないかと。 当該指標に含まれていると認識している。追加で設定するというものも考え方としてはあると思うが、指摘を踏まえて調整したい。

指摘箇所		委員からの主な意見
施策3	指標	アンケート項目が、「人の得意なことや苦手なことを、「その人らしさ」として認めることができる」について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した人の割合となっているが、この設問で多様性を尊重できる児童生徒の割合が測れるのか。
施策3	指標	基礎学力は当然大事ではあるが、正解がないことに取り組める力というようなニュアンスも入ってくるいいのではないか。
施策6	指標	バリアフリーは制度的なバリアと、情報・文化面のバリア、物理的なバリア、心のバリアがある4のバリアがあるといわれている。一人ひとりバリアの状況、感じている度合いも違うことから、具体的な問いかけしてみてもどうか。
施策6	指標	市全体でボランティアがどれくらいいるかというよりも、地区ごとに地区のボランティアセンターがどれくらいあるかとか、どのくらいの人がいるかとかの方が、実態に合った指標になるのではないか。
施策9	指標	障害者差別解消法を知っているかということよりも、法の肝である、障害を社会モデルとしてとらえるのであるか、合理的配慮の理解など、中身を問うた方がいいのではないか。
施策10	指標	健康診断の受診率はデータの出典がなぜ市民アンケートなのか。受診率を載せればいいのか。 会社の健康診断など、対象を広く受診状況を図りたいということから市民アンケートで測ることとした。
施策10	指標	「主観的健康感」より、例えば「自主的な健康管理度」などももう少し良い表現もあるのではないか。
施策10	指標	指標の説明が「心の健康づくりに対する支援が測られているかを見る指標」なのであれば、窓口を知っているかということよりも、例えばケースワーカーの数、対応の件数など、もう少し具体的なものの方が良いのではないか。
施策12	指標	指標として、市民アンケートを聞いて、外国人との多文化共生が進んだのかではなくて、直接外国人に聞くような調査はできないのか。
施策13	指標	いわゆる「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方は、高齢者は理解できるが、今の若い方はなかなか持たないと思うが、指標として適正でないのではないか。
施策13	指標	人権が尊重されていると思う市民の割合が増加していることも一つは大事なことかとは思いますが、99%の方が尊重されていると思ったときに、大事なのは1%の方なのでこれをないがしろにするような指標はあってはならない。
指標14	指標	河川改修の問題は市独自だけでなく、県の管理も相当数あるため、計画をきちり立てさせて、しっかりと推進をしていくということではなければいけないことを考えると、この指標でよいのかと思う。
施策14	指標	住宅の耐震化が実情として進んでいない現実がある中で、市は住まいとして1部屋だけを重点的に耐震化をするような取組をやっているわけであるのに、ストレートに住宅の耐震化が指標とするのは、焦点がぼけるのではないか。
施策16	指標	質問に対しどう答えればいいのか分からない。一般的な感覚としてももう少し表現を改めるか、あるいは行政の役割という面をみれば、殺処分0を目指す・維持するでいいのではないか。
施策17	指標	いろいろな防犯活動をしてきた経験で言わせていただくと、自分は大丈夫と思う人が一番危険であるので、このようなアンケートの指標ではなく、しっかりと防犯力が働いてこの地域は大丈夫という指標を示す必要がある。
施策17	指標	取組の方向にある、消費生活相談の内容の充実及び見守りによる未然防止、早期発見、自立した消費者の育成がされているか測るためには、もう少し踏み込んで、未然にどれだけ防げたか、早期発見できたかなどを測る指標があるのではないか。

指摘箇所		委員からの主な意見
施策18	指標	これからさらに社会問題として大きくなる空き家の適正管理の問題については、今社会としては解決率を増やしていくということが求められているが、解決率を維持をすることが目標というのが、これからの総合計画の中で成果指標として馴染むものなのか。 現状特定空家は、ある程度高い割合で解決ができていますので、おそらく今後も件数は増加する中でも、解決率を維持をしていきたいというのが、表現の中にはあるかと思う。
施策18	指標	空き家の適正管理だけではなくて、それぞれの地域社会で資源として活用していくような方向性が出てこないか。
施策19	指標	緑化地域を設定する、景観地区を設けるなど、様々な手段があるのだから、沿道の緑化ではなく、緑化面積の維持などの指標はないのか。
施策22	指標	アウトプット指標であり、この点に焦点を当てるのであれば、渋滞の解消状況や環境負荷の低減などを指標とするべきではないか。
施策25	-	地域の企業・小さな企業の成長を促す指標、指標でなくても方向性というものが出てこないか。あるいはマッチングの件数などもう少し将来的な展望の抱けるような、指標設定ができないか。
施策30	指標	指標がないが、市としては全く働きかけをしないということか。 取組としては進めていくが、米軍の基地が、何年後に何%戻るという目標を立てることは難しい状況である。
施策33	指標	どのようなものを選択肢として挙げるにより、かなり選択肢で結果が変わると思う。客観的にみれば、適応策にはなっているが、主観的にはなっていないようなことも想定されるが、そのようなものをどのように測定するのか。
施策33	指標	説明を見ると市民の具体的な行動に繋がっていることを見る指標とあるが、知ることが、行動につながるか疑問である。
施策35	指標	ごみの総排出量は事業系と家庭系を纏めたものであるが、説明で触れられていないため併せて表示していく必要がある。
施策35	指標	指標にリサイクル・リユースというものが含まれておらず、施策のタイトルである「循環型社会の形成」というものが市民の目に見えないのではないか。
施策39	指標	知っているよりかよりも何をするのか聞くべきではないか。
施策43,47	指標	地区の単位が、村や字を想定する人もいれば、駅周辺の単位を地区と感じる人もいると思うが、記入する側に誤解がないようにするというのが肝要ではないか。
施策44	指標	AIとかICTの急速な進展により、電子申請も進められている中、10年間の指標とした考えた場合に適正なのか。
施策44	指標	税金は公平にきちんと納めなければいけないというのが原則ではあるが、滞納せざる得ないという状況の中で、強権的な取り立て・差し押さえにより人権侵害的な事態に陥ってしまうことを懸念している。 当然人権侵害になるようなことは、ありえない、あってはならないと思っている。
施策44	指標	国は300自治体にAIを導入するというような目標設定をしていたと思うが、AIの導入率をRPAと分けて別に指標を設けてはどうか。
全体	指標	指標は原則客観的なアウトカム指標ということで考えると、個々のアンケートで「知っている」、「やっている」ということを測る指標が、取組の方向に直結するというのは説得力がないかと思う。
全体	-	地区について、保健福祉圏域でいえばまちづくり会議の22地区、高齢者の日常生活圏域で29地区である。今度の総合計画の中で地域で何をするとすると、その部分を整理しないといけないと思う。

指摘箇所		委員からの主な意見
全体	指標	成果表の独自調査は、本当に客観性を持ったいわゆるエビデンスに基づくような調査結果を得るようなものになっているのか、確認をしていただきたい。